

「地域資源∞全国展開プロジェクト」
平成18年度採択案件一覧表（商工会議所分）

事業実施者 (都道府県)	実施概要
函館商工会議所 (北海道)	【体験・滞在型観光の振興と移住の促進事業】 市民の生活体験全てを資源とした新たな観光を模索し、「体験型ツアー」を構築する。先進事例を研究し、体験観光メニューの充実を図り、日本のみならず東南アジア等も視野に入れ観光・地域の振興を図る。また生活体験型観光ツアー、移住視察ツアー等も用意し団塊世代等の移住希望者の為のサービス・体制の構築も目指す。
札幌商工会議所 (北海道)	【札幌ギフト開発展開事業】 観光土産、ギフト商品の開発及びPR事業を行ううえで、「クラーク博士」の名を用いたブランド名の試作品開発を行い、店頭での試験販売、催事、インターネット等を利用しPRを行い全国展開を図る。
室蘭商工会議所 (北海道)	【「室蘭カレーラーメン」ブランド化支援事業】 「室蘭カレーラーメン」を北海道ラーメン「第4の味」として全国にPR・ブランド化し、「マチおこし・商売繁盛・市民の誇り」に繋げていく。PRキャラバンの編成、物産展への参加等を通じてPRを進める。
北見商工会議所 (北海道)	【新きたみ発「地域資源(観光・特産品)活用」全国展開支援事業】 農産物(玉ねぎ・ハッカ)・水産物(ホタテ等)の食品機能性について、医科学的に評価・検証し、高付加価値を与えPRする。また、各地展示会、企業への営業、商談会への出展、ホームページでの情報発信等で販路開拓及び拡大を図る。
網走商工会議所 (北海道)	【網走市特産品創出・観光開発事業】 「カラフトマス」等の水産物を活用した加工食品を開発し、試食会・物産展等を通じ「網走ブランド」を確立する。また、通過型観光から滞在型観光への転換を目指し、個人型観光に対応できる体験型メニューを発掘し、網走らしい観光を全国に発信する。
栗山商工会議所 (北海道)	【栗山町タマネギ オンリーワン地域ブランド促進事業】 栗山町限定生産による高機能性玉ねぎ「さらさらレッド」を、健康効果検証データに基づいた広報活動で高付加価値をつけ地域ブランドとして確立する。また並行して加工商品の開発を行ない、地域の産業振興、雇用拡大も図る。
士別商工会議所 (北海道)	【士別産羊肉特産品開発事業】 サフォーク羊肉を活用したオリジナル料理、新規性・独自性に富んだ加工食品の開発を行うとともに、冷凍技術を研究し質を高めることで、年間を通して高品質で美味しい羊肉を安定供給出来るシステムを確立し更なる消費の拡大に繋げ、サフォーク羊肉の地域ブランド化を図る。
伊達商工会議所 (北海道)	【中長期滞在型観光地としての地域ブランドの確立と地域情報センターの構築】 伊達市・大滝村合併に伴い新たな連携による観光資源の開発を行ない、都市部の団塊の世代を中心に移住・定住等の「中長期滞在型観光」の地としての地域ブランドを確立する。ウォーキングルートの開発や中長期滞在者用のコンテンツ構築に取り組む。
岩内商工会議所 (北海道)	【海洋深層水を活用した特産品の開発による地域ブランドの創設事業】 国内で数カ所しか取水する事が出来ない「海洋深層水」を活かし、地域ブランドとして確立する。ミネラル成分を生かした家庭用ボトルウォーターの開発、高級感ある統一パッケージの作成に取り組む。
登別商工会議所 (北海道)	【地場海産物の活用による「登別観光ブランドの再構築」と「新たな特産品ブランドの構築」】 既存の温泉観光イメージに新たに海浜イメージ(水族館、プレジャーボート対応岸壁等)を演出し、食の面でも海産物(北寄貝、タラ等)を中心とした食の魅力を加し、登別観光ブランドのイメージを再構築する。また特産品として「登別の知られざる食の魅力」として加工食品を開発する。
青森商工会議所 (青森県)	【八甲田山と浅虫温泉における“あおもり冬のくらし体験”商品化事業】 八甲田山と浅虫温泉地区の豊かな自然(大樹氷群、八甲田山からの変化に富んだ360度パノラマ、雪、ウインタースポーツ、温泉等)を活用し、都市生活者をターゲットに生活習慣や自然を体験して貰える商品の開発・PRにより、観光客の入込み増加を図る。

事業実施者 (都道府県)	実施概要
弘前商工会議所 (青森県)	【世界自然遺産「白神山地」のめぐみ開発プロジェクト事業】 世界自然遺産「白神山地」という素材をベースに地産地消の特産品開発(山菜・川魚・りんご・ブナ材加工品等)と2010年新幹線新青森駅開業に向けた観光客誘致・戦略展開を図る。
盛岡商工会議所 (岩手県)	【盛岡つなぎ温泉活性化支援事業】 都市近隣型となり交通の便も良い「つなぎ温泉」を中心に、全国的な知名度を持つ「小岩井農場」や、地場産業体験施設である「盛岡手作り村」等の周辺施設と連携戦略をとり、各施設が催すイベントとの相乗効果を発揮し観光客入込数を増やす。また、組織的に専門家のアドバイスを得ながら、宿泊施設の支援も含め、小グループ・個人旅行の増加に対応した「質」にこだわった戦略を展開する。
酒田商工会議所 (山形県)	【「北前船」復元・建造コンセンサス形成事業】 北前船交易により繁栄を極めた湊町酒田の歴史を地域資源とし、「北前船復元船」建造、北前船歴史資料展示館、市民自由市場の建設に向けてコンセンサス形成のため、市民へのPR・啓蒙活動等を実施。新たな湾岸観光複合拠点を築く事により観光客の増員を図る。
米沢商工会議所 (山形県)	【地場農産物を活用した新商品開発・販路開拓事業】 うこぎ茶、さくらんぼ、ラ・フランス、ベリー類、雪菜、遠山かぶ等の農産物を中心に、「食」の分野の新商品開発により地場農産物のビジネスと雇用の拡大を図り、商品のブランド化を目指す。商工会議所が主体的立場をとりながら生産・加工・流通分野をコラボレーションさせ、関連機関と共に事業に取り組むことにより相乗効果が期待でき、地域内経済巡回システムの構築を図る。
長井商工会議所 (山形県)	【まち歩き観光全国PR推進事業】 市内に点在している蔵や近代建築などの何気ない「宝」を地域資源とし、まち歩き観光を確立させるため長井の地域ポータルサイトの立ち上げ、ガイドマップ作成、近代建築等の登録文化財化を図る。
会津若松商工会議所 (福島県)	【会津若松歴史・文化・食素材再構築事業】 食材、特産品、伝統工芸、史跡・名所等既存品のブラッシュアップと埋もれたコンテンツを再構築し広く情報発信する。また、モノだけでなく「会津ブランド」の確立と会津でしか味わえない新たな「食」の確立で交流人口増大を図る。
須賀川商工会議所 (福島県)	【須賀川地域ブランド全国展開事業(公園観光事業)】 全国都市公園100選にも選ばれた翠ヶ丘公園内にある、江持石で造られた「石の彫刻の森」や「現代版ストーンサークル」、「恋人の聖地」等を核とする新しい公園観光開発事業を推進する。また江持石で焼成した石板を利用した名物料理、江持石の粉末と粘土を混ぜ合わせた陶芸グッズ等を地域ブランドとして全国に展開し地場産業の振興を図る。
長岡商工会議所 (新潟県)	【越後長岡特産品・観光資源開発全国展開支援事業】 コシヒカリ・海産物加工・日本酒等既存の特産品のマーケティング戦略を中心に新長岡地域ブランド(闘牛・錦鯉・水・信濃川・長岡野菜等)の創出に取り組む。また新長岡市を起点に新体験型ツーリズムの実現に向けた観光ルートの創設とPR戦略を確立する。
柏崎商工会議所 (新潟県)	【産業資源を活用した着地主導型産業観光モデルコースの構築】 世界最大級の原子力発電所等の産業資源を活用し、観光客受入の為のモデルコースを構築し「体験型産業観光」のバージョンアップを図る。また旅行者に対して地域の魅力を最大限に引き出し伝え、多様なニーズに対応していく為に、地域情報や地元の旅行者者との連携・協働し、ワンストップサービスの受入システムを整備する。
新発田商工会議所 (新潟県)	【落谷虹児オリジナルグッズ企画・開発事業】 全国有数の温泉地である月岡温泉や行政と連携し、新発田市出身の抒情画家「落谷虹児」の作品を活用したオリジナル商品を開発し文化面における新発田ブランド商品の確立を図る。
村上商工会議所 (新潟県)	【～村上の鮭文化の新たな創造と挑戦～鮭の地域ブランド力の強化と新製品開発事業】 村上の「鮭」の文化を伝承しつつ、栄養学的成分分析の新視点と、独自の鮭加工技術による試作品の開発に取り組む。また、消費者意識調査の実施や「村上フェア」等により全国的なPRを行い、「村上ブランド」の確立を目指す。
加茂商工会議所 (新潟県)	【「雪樺の花びら染」特産品等開発並びに販路開拓事業】 加茂山公園で採取した雪樺の花びらを使用して、毛糸の帽子・綿のハンカチーフ・服紗等の商品開発を行い、カタログやホームページの製作、展示会出展等により、マスメディアを中心に「雪樺の花びら染」を広く周知していく。

事業実施者 (都道府県)	実施概要
高岡商工会議所 (富山県)	【富山県西部地域産業観光ツーリズム推進事業】 「ものづくり」が盛んな特長を観光という側面から捉え直し、「産業観光ツーリズム」の推進によって集客を図り、地域内企業の需要開発及び需要創造を図る。また従来の世界遺産や国宝等の観光資源や各地域の特色を生かした「グリーンツーリズム」等と連携させる事により、更なる魅力の増大を図る。
輪島商工会議所 (石川県)	【輪島素麺復興事業】 かつては朝廷にも献上されたという「輪島素麺」を復活させ新たな特産品とし、地元の産業や特産品との連携を図り商品の活性化を図る。また開発した商品を使って、新料理の開発・作成、首都圏での展示会や飲食店での「輪島」を体験して頂けるイベント等を開催することにより全国展開を図る。
長野商工会議所 (長野県)	【長野地域SNSによるアートブランド全国展開プロジェクト】 豊富なコンテンツ・アートを観光資源とし、「アート・アーティスト」を求心力とする地域に関連付けたブランドを確立する。また近年注目を集めるインターネットのソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS)を利用する事により、多くの一般市民が自主的にコミュニケーションをとるボトム・アップ型のシステムを構築し、地域の発展に反映させていく。
飯田商工会議所 (長野県)	【南信州ブランド開発連携推進事業～名物料理と観光資源の融合～】 南信州牛・南信州産青果・漬物等地域資源を用いた名物料理メニュー開発、消費者協働型観光ツアーモデルの開発、南信州ブランドPRのためのカタログ・WEBコンテンツの作成・整備により集客を図り地域活性につなげる。
諏訪商工会議所 (長野県)	【諏訪湖エリア(観光)おもてなし向上による賑わい創出事業】 諏訪湖エリアの2市1町が協働し、地域住民が「おもてなしのこころ」を持って観光客をお迎えし交流する「観光交流産業」を確立するため、「高原型温泉リゾート地」という既存の資源を活かしながら体験・学習・交流・滞在保養などの観光客のニーズにあった着地型旅行商品を提供し、他産業とも連携をとりながらホスピタリティー溢れる受入態勢の構築を目指す。
伊那商工会議所 (長野県)	【中央アルプスを横断したトンネルを利用した観光推進事業】 中央アルプスを横断する「権兵衛トンネル」が開通し、伊那圏域と木曾圏域の行き来が約30分にて可能になった事を活かし、2つの地方を一带とし回遊性を持った特色ある観光ゾーンとするため、食資源を中心とした新たな観光資源の開発及びPRを進め、地元の温泉や農場地域をつなぐウォーキングコースを設置し伊那ブランドの確立を目指す。
小諸商工会議所 (長野県)	【小諸まぼろしの特産品 商品開発事業(白いも商品シリーズ化)】 「まぼろしの白いも特産品」を開発・展開し、地域経済活性化の確かな起爆剤とし、最終的には全国的知名度を持った特産品に育て上げる事を目標とする。高品質・健康に関心の高い層をターゲットとし、従来の広告に頼ったプロモーションではなく、徐々にファンを増やす「ロコミ型プロモーション戦略」をとる。
茅野商工会議所 (長野県)	【寒晒し蕎麦復活再生推進会議】 江戸時代は将軍に献上していた「寒晒し蕎麦」を復活させ、日本一の蕎麦地域としブランド化を図る。製造技術の確立・研究・分析を行うと共に、そば祭等のイベント、蕎麦振興を図る各種団体や組織との交流、各種メディアを通じたPR等を行う。
飯山商工会議所 (長野県)	【飯山・戸狩温泉から元気を発信するプロジェクトV】 「信州りんご・信州みゆきポーク・かりんとう・雪」の4つのキーワードを使い、りんご風呂・りんご料理等でスキー場・民宿をりんご一色にするといった特産品開発、「まくらカフェ」のスキー場内への常設などを行い、主要産業であるスキー場産業の再生と活性化を目指すと同時に、新たな雇用創設を目標とする。
日立商工会議所 (茨城県)	【日立商工会議所特産品・観光開発事業委員会】 市のさかなである「さくらだこ」や県内第2位の漁獲高を誇る「あんこう」等の地域資源を活用し特産品開発を行い地域ブランド化に取り組む。また、ものづくりのまちとして発展してきた本市に多数存在する産業観光遺産や公園等の観光施設を利用して「まちまるごと博物館構想」の実現を試みる。
ひたちなか商工会議所 (茨城県)	【豊かな海と太陽と大地の恵み食育体験推進のまち事業】 首都圏の小中学生を対象とした、自然を生かした農業や漁業、水産加工等の体験滞在型の食行プログラムを開発し、食行観光推進を図る。また「国営ひたち海浜公園」のハーブガーデン等も利用し体験メニューなどの開発も行い、市内産業全体の振興を図る。

事業実施者 (都道府県)	実施概要
足利商工会議所 (栃木県)	【まちなかを歩こう(まちなか不思議・美味・宝物発見散策)】 日本一の足利三名所(日本一の樹齢の大藤を擁するフラワーパーク、栗田美術館、日本最古の総合大学足利学校)や、足利三名物(蕎麦、和菓子、ワイン)、室町時代の茶の湯や伝統行事等を資源とし、四季を通しての観光客増加策を図る。また「異日常的な観光」「まちなかへの回遊策」を強化するため、まちなか回遊マップの作成やフード祭、まちなかウォーク等のイベントを開催し、交流人口の増加と滞在時間の延長を図り地域経済の活性化を狙う。
日光商工会議所 (栃木県)	【日光ブランド開発プロジェクト】 日光彫による「時流にあった消費者が求める新しい土産品」を開発する。委員会を設置し消費者ニーズを把握のうえ取り組み、各地で行われる展示会等にも積極的に参加し、パンフレットの作成やネット販売も試みる、これにより「日光ブランド」を全国にPRし販売拡大を図り地域振興に努める。
川口商工会議所 (埼玉県)	【都市型産業観光ネットワーク形成プロジェクトin川口】 住宅都市化の狭間で衰退しつつあるかつて「鑄物の川口」、「植木の安行」として全国的なブランドを誇った川口の地場産業を、体験型の産業観光を導入することにより、新たに形成された市民社会や地域産業と連携した現代の地域文化として再生する。
東京商工会議所 (東京都)	【三宅島ガラスジュエリーの全国展開事業】 三宅島の火山灰を利用したマリブルー色の「三宅島ガラス」に着目し、東京の地場産業であるジュエリー製造技術とのコラボレーションによる「三宅島ガラスジュエリー」の試作品開発や、市場調査を行い、業界紙への掲載や展示会への出店等のPR及び販路開拓を図ると同時に、ジュエリー製造業の活性化及び三宅島の観光振興や地域復興に役立てる事を目指す。
藤沢商工会議所 (神奈川県)	【藤沢宿・遊行の盆】 藤沢の観光資源である「遊行寺」の一遍上人による「踊念仏(盆踊りのルーツ)」に着目し、盆踊りイベント「藤沢宿・遊行の盆」を開催し将来全国的に有名な踊りに育て、湘南の新しい観光の目玉とする。また、遊行寺を中心とした観光ルートの設定、昔ながらの「市」の開催などにより地域の活性化を図る。
富士吉田商工会議所 (山梨県)	【富士北麓の恵みを活かした「富士山名産品会」販路拡大支援プロジェクト事業】 食品製造業・小売業・繊維産業の事業者を中心としたグループ「富士山名産品会」を構成する企業の拡充強化により、地域ブランド「富士北麓の恵み(仮称)」の確立とブランド商品の開発、富士山のロケーションと観光資源を融合させた実践的なビジネス展開、パンフレットの作成、IT等の活用による多様な流通・販売チャネルの構築で販路開拓を図る。
静岡商工会議所 (静岡県)	【富士山静岡プロジェクト】 江戸時代から受け継がれた職人の技術・技能と豊かな自然に育まれた農水産品を地域資源とし、また日本一の山「富士山」を活用した「富士山静岡プロジェクト」として商品開発・マーケティング手法の研修・実習、webサイト・広告を活用したPR、ギフトショーへの出展等により販路拡大を図る。
浜松商工会議所 (静岡県)	【浜松地域ブランド「やらまいか浜松」認定及びプロモーション事業】 浜松地域における「特産品」や「隠れている優れた製品」をはじめ、地域の素材や技術などを活かし、浜松らしい魅力ある地場産品を浜松ブランドとして、広く全国に発信PRする。
多治見商工会議所 (岐阜県)	【「陶の里いちのくら陶芸教室」の広域PR事業】 美濃焼の名窯「幸兵衛窯」を活用し質の高い陶芸教室を提供することにより、陶芸ファンや観光客を増加させ、地域全体の活性化を図る。旅行代理店との契約、陶芸イベントの開催、ホームページの作成等で美濃焼の普及・PRに努める。
名古屋商工会議所 (愛知県)	【産業観光「ものづくり文化の道」全国展開事業】 名古屋扇子・名古屋友禅・和風などの伝統産業、菓子製造・洋食器などの近代産業、蔵が並ぶ四間道・東海道・中山道を結ぶ美濃路などの歴史的街並みを地域資源とし、このエリアを産業観光「ものづくり文化の道」といわれる地域ブランドを確立する。
半田商工会議所 (愛知県)	【知多半島賑わい創出事業『温故知多新』～知多半島山車祭りを視野に…】 知多半島各地が有する文化である「山車祭り」、豊かな自然と技術が生み出す「食」、半島の発展を支える「産業資産」を活かし、観光や産業の振興を図り、豊かな知多半島とその文化を育て伝える。

事業実施者 (都道府県)	実施概要
蒲郡商工会議所 (愛知県)	【がまごおりマリン・アンチエイジング推進事業】 国内最大級のマリンリゾート施設「ラグーナ蒲郡」と温泉地等を活用し、健康志向の強いシニア層をターゲットとした新規顧客開拓を目指す。モニターツアーの開催、インストラクター養成、HP・パンフレットの作成等を行い、一般およびエージェントにプロモーションを図り認知度を高める。
刈谷商工会議所 (愛知県)	【刈谷の新名物開発事業】 トヨタグループの本社密集都市であり工業都市として発展してきた刈谷ならではの銘菓を開発する。例えばプラグ型や自動車・自動車部品等の工業出荷製品を模した菓子など特色ある土産品を開発し全国展開を図る。
常滑商工会議所 (愛知県)	【TOKONAME土産『招き猫』プロジェクト】 「招き猫」をモチーフとした常滑でしか買えない「土産品」の新商品開発をすることにより、製造業商業などの小規模事業者の育成支援につなげる。また、「招き猫」生産量日本一であることを全国にアピールし、「招き猫の街」を新しい観光資源として発信していく。
亀山商工会議所 (三重県)	【地域資源を活用した観光ルート開発並びに特産品開発事業】 歴史文化・経済の発展の背景が異なる亀山・関の両地区の特性を活かし、産業観光・体験観光ルートの開発・小規模事業者への経済波及効果をもたらす新たな特産品の開発等を旧亀山市・旧関町が一体となって行う。
尾鷲商工会議所 (三重県)	【尾鷲市特産品開発・集客交流促進事業】 地元天然資源・素材を活かした特産品づくり、地域の新鮮な魚介類と地域に自生する薬草を組み合わせた熊野古道薬草弁当の改良開発を行い全国展開を視野に入れた販路拡大を図る。また、歴史文化資源や豊かな自然に触れる健康ウォーキングプログラムの開発や漁業・林業体験等を活用した滞在する体験サービスプログラムを開発・情報発信して観光交流人口の増大を図る。
福井商工会議所 (福井県)	【福井のブランド食品創造事業】 海・山・里の自然環境に恵まれた地域において、テーマを「食」に絞り、勉強会やセミナーにて小規模事業者の育成と10年後の北陸新幹線開通に向け関東市場を主に販路開拓を行う。
敦賀商工会議所 (福井県)	【敦賀ならではのアイテム 創造支援事業】 日本三大松原である気比の松原、氣比神宮等を活用し、敦賀に訪れる観光客に敦賀ならではのアイテムを提供する。マスコミ広告・パンフレット作成・HP制作のPR活動により原子力の街というイメージから近くて行きやすい観光避暑地と位置づけられることを目指す。
彦根商工会議所 (滋賀県)	【彦根ブランド創出事業】 伝統・歴史・文化遺産(井伊家ゆかりの能装束・能面・甲冑など)からデザインを創出した「彦根ブランド」を3つのカテゴリー「業物屋」・「伝文屋」・「贅沢屋」に分けて展開し確立する。ブランドの確立によってイメージの向上、観光客の誘致、地域経済の活性化を目指す。
京都商工会議所 (京都府)	【琵琶湖疏水を活用した広域産業観光事業】 京都の産業振興および日本の近代化の原動力ともなった産業遺産である「琵琶湖疏水」に着目し、観光資源としての活用を推進する。また、琵琶湖疏水を軸としてインクライン・水路閣・庭園・神社寺院など点在している観光資源をつなぎあわせ、広域で複合的な観光エリアを形成し、イベント・フォーラムの開催、冊子・マップ・ビデオ・DVDなどの作成、周遊パスポートの作成・実施を行う。
亀岡商工会議所 (京都府)	【DO! たんぱプロジェクト】 亀岡地域ブランドの情報発信と体感機会の提供により、イメージの向上、好イメージ定着を図り、亀岡地域ブランドの確立を目指す。近畿でも有数のコスモス畑を核とした観光マップ(花マップ)の制作、イメージ音楽・踊り等の創作、物産展の開催等によりPRを行い全国展開を図る。
堺商工会議所 (大阪府)	【堺ブランド推進事業】 優れた技術を持つ企業を堺ブランド「堺技衆」として認証し、国内に広く発信する。優れた産業の集積地である「堺」を知ってもらい、地域のイメージアップと経済発展、また地元民の地域愛の醸成を促し、全国紙等への認証企業名入り掲載等によりPRを行う。

事業実施者 (都道府県)	実施概要
三木商工会議所 (兵庫県)	【秀吉が辿った 湯の山街道再生と土産品開発事業】 歴史街道の中心である「湯の山街道」を全国レベルに達する観光地域に推進するため、秀吉を前面に押し出したフェスティバルの開催をはじめ、史跡・収蔵品などの調査研究によるパンフレット・マップ・町家の解説書等を発行し全国にPRを行う。また、金物をはじめとした地域資源を活かした観光グッズ等の製品開発を行い、優秀品を選定しパンフレットに掲載するなどして販路開拓を行う。
和歌山商工会議所 (和歌山県)	【わかやまNewWaveプロジェクト】 炭・柿を建具の中に使い防湿・防腐作用がある製品開発を行い、全国展開を図る。また、歴史・文化資産が随所に残る街並みを観光資源として活用し、広報・PRイベントによる新イメージの創出と定着、パンフレット作成による全国への情報発信等誘客を図る。
橋本商工会議所 (和歌山県)	【観光物産拠点施設計画及び観光資源発掘】 全国一位のシェアを占めるへら竿とパイル織物などの地域資源を活かし体験型観光に取り組む。世界遺産に登録された高野山というブランドを利用し観光物産拠点施設を核に体験型観光を組み合わせた地域のテーマパーク化を図る。
紀州有田商工会議所 (和歌山県)	【地元の素材を用いた太刀魚の干物、白菜・大根の漬物新商品開発事業】 全国水揚げ一位を誇る太刀魚を資源とし商品開発を行い、焼き魚や寿司等で利用できず捨てられてきた太刀魚を有効活用する。また、地元で採れる野菜(白菜、大根等)を利用した商品開発により地域ブランド確立を図る。
鳥取商工会議所 (鳥取県)	【鳥取県東部地域および兵庫県北部地域の広域観光振興事業】 高速道路の開通に合わせ、マイカーで訪れる熟年夫婦・友達同士・若い親子連れ向けの、マニアックな趣味の領域を活かしてもらえる観光地・観光コースを広域的に設定する。観光スポットを募集する住民コンテストや発掘作業等の実施、情報発信するためのHPの立ち上げ等を行う。
松江商工会議所 (島根県)	【玄丹そば振興事業】 玄丹そばの「本格志向」「高品質化」によるブランドイメージの向上を図り、玄丹そばパスタ及び島根県産品を活用したレシピの商品開発を行い、玄丹そばの栽培面積増大・「出雲そば処」のブランド化を推進する。
出雲商工会議所 (島根県)	【神話の夢舞台 出雲「遊覧屋形船運行事業」と「シジミ等ブランド開発事業」】 シジミ・魚介類を地域資源とし、湖を利用した観光と恵まれた魚介類・周辺の各施設の連携を核に、遊覧屋形船運行による体験観光・自然体験、シジミ・魚介類を活用して全国発信できる食卓の一品・観光客への土産品の開発と普及を行う。
津山商工会議所 (岡山県)	【産学官民連携による津山地域特産品開発・販路開拓支援事業】 小規模食品製造業者を核に大学・研究機関等と連携しながら、ユニバーサルデザイン商品やステンレス加工技術等について新商品の開発や新サービス、新市場を生み出していく。
高梁商工会議所 (岡山県)	【備中高梁学「体験・学習観光」による地域産業活性化事業】 高梁学園を地域の知の拠点として新たな観点(観光と学びを融合した観光スタイル)で地域学「備中高梁学」として確立する。そのコンテンツは書籍や地元CATVを通じて広報的にも活用する。
総社商工会議所 (岡山県)	【「目指せ100万人」プラスアルファ観光サービスの発掘事業】 宝福寺での「精進料理・座禅体験サービス」や、国民宿舎サンロード吉備路「フレッシュジュースサービス」など既存の歴史・自然観光資源に新たな「プラスアルファサービス」を発掘することにより、観光産業を活性化させる。観光客のニーズ調査、HP・案内看板・パンフレットの作成等を行い、観光客の増加を目指す。
広島商工会議所 (広島県)	【「ふるさと神楽de Night事業」(神楽による夜の賑わい創出事業)】 広島の伝統文化である「神楽」を核とする観光産業の育成(通過型観光から滞在型観光へ)を狙いとし、夜神楽の定期上演・神楽にまつわる新サービス(夜の定期観光バスの運行)新商品(神楽弁当・神楽酒等)の開発により広島の観光客の増加を目指す。
府中商工会議所 (広島県)	【ものづくりのまちの観光資源発掘事業】 「ものづくりのまち府中」をPRするとともに、「産業観光」と歴史的街並み景観の残る「石州街道」の2つの素材を連携させ相乗効果を図る。また、府中独特のお好み焼き文化についてHPやマップの作成により集客を図り、観光を府中の産業にする。

事業実施者 (都道府県)	実施概要
廿日市商工会議所 (広島県)	【手みやげ開発プロジェクト】 日本初の生産地である無花果や桜などを活用し和洋折衷の未体験の味のものや宮島の厳格さに相応しい高プレミアムな新たな手みやげ品(お菓子)を開発する。廿日市市を代表する「宮島観光みやげ」や「大切な人への手みやげ」をテーマとし、販売数量・入手場所を限定し、プレミアム度を高め販路開拓を図る。
下関商工会議所 (山口県)	【下関・北九州広域観光開発・情報発信事業】 ふぐ・うに・くじら・あんこう等の「食」、温泉施設などの「憩い」、維新源平にかかわる「歴史遺産」と北九州の八幡製鐵所や環境リサイクル産業の振興を基盤とする産業観光施設による「ものづくり」を融合させ新たな広域観光開発を図る。
防府商工会議所 (山口県)	【天神ブランド開発と表参道誘客のための事業】 防府天満宮の「天神さま」と、瀬戸内海から水揚げされる「はも」「たこ」や魚介類を地域資源とし、防府及び表参道にふさわしい「天神グッズ」を開発し、地域ブランドの確立と「天神さま」をシンボルに表参道ゾーンのまちイメージを形成し観光客を誘導する。
徳島商工会議所 (徳島県)	【「街なか阿波踊り風景」事業】 阿波踊りの期間外の練習風景を観光資源化するとともに、地場産業である発光ダイオードによるオブジェや照明灯等の設置、地元の食材を活かした創作郷土料理の開発、無料周遊船における観光ガイドボランティアの活用などを一体的・連携的に推進し、観光客を含めた来街者・居住人口の増加による中心市街地の活性化を図る。
鳴門商工会議所 (徳島県)	【鳴門で ウマイ キレイ ゲンキ】 鳴門ワカメ、鳴門鯛などの海産物、鳴門金時、蓮根のような全国的に有名な農産物を資源とし、アンチエイジングやウェルネスを意識した食を提案する。また、地域資源の再発見、再評価を行いながら、おもてなしの心や癒しを付加価値とした観光を提案し、リピート観光客、長期滞在客、定年後の移住者が来なくなる街を目指す。
松山商工会議所 (愛媛県)	【松山ブランド新製品全国展開支援事業】 みかん・鯛など山海の豊富な地域資源を用いた松山ブランド新製品コンテスト受賞商品の製品・デザインの改良を行い、生産体制の見直し、展示会による販路開拓などを行う。
宇和島商工会議所 (愛媛県)	【海と人と、宇和島を元気にする資源開発事業】 ハマチ(ブリ)をメインとする地域水産物を活用した新商品を開発する。また、真珠・じゃこ天・かまぼこ等の地域産業体験、段々畑・四万十川・溪谷等の自然観察体験等の観光メニューを開発するとともに、産業や、風物を使った新しい観光PR商品を開発する。
大洲商工会議所 (愛媛県)	【「アナログ空間活用による着地型地域経済活性化事業】 「龍馬脱藩の道」「アマゴの里」の旧河辺村をモデルエリアとし、着地型研修制度(体験旅行)を設定する。モニターツアーの開催やネットによる情報発信でPRを行う。
高知商工会議所 (高知県)	【土佐宇宙酒全国展開事業】 宇宙酵母や地元産酒造好適米を活用し、厳しい統一品質管理基準と審査基準を経た最高品質の純米吟醸酒「土佐宇宙酒」のブランド確立と全国展開に向け、マスコミ広告、パンフレット作成等の販路開拓、営業活動を行う。
土佐清水商工会議所 (高知県)	【観光開発と特産品開発のモデル事業】 松尾地区をモデル地区とし団塊世代をターゲットにした自然景観・史跡巡りの散策ルート設定、「癒し」と「感動」をキーワードとする魅力ある観光ルートづくり、それを支えるサービス提供の仕組みづくりを推進し、観光客等交流人口の誘致拡大を図る。
飯塚商工会議所 (福岡県)	【大正ロマン～白蓮と伝右衛門～うんちくの旅プロジェクト】 伊藤伝右衛門邸を中心に嘉穂劇場や近隣の観光資源を活用し、団塊世代を中心とした知的好奇心を満たすテーマ型の旅を確立させる。ホームページの設置、モニターツアーの実施によりPRを行う。また、地域色豊かなお菓子の試作品開発や特産品の公募を行い観光客へPRする。
直方商工会議所 (福岡県)	【高取焼開窯400年祭】 高取焼の発祥地として直方ブランドを確立させるため、千人茶会・焼物教室・HPの立ち上げなどによるPRで、市民に「高取焼発祥の地、直方」を認識させ中心市街地への回遊性を持たせる。

事業実施者 (都道府県)	実施概要
筑後商工会議所 (福岡県)	【筑後ふるさとブランド開発事業】 様々な地元素材を活用した「筑後市」のブランド品づくりと、埋もれている観光資源・危機にさらされている観光資源・新たな観光資源を活用し、2010年の九州新幹線鹿児島ルート全線開通までに魅力ある筑後ふるさとブランドづくりに努める。
有田商工会議所 (佐賀県)	【有田焼産地再生支援プロジェクト】 展示会などを通じて有田焼新製品の販路開拓・イメージアップを図り産地再生支援を行う。有田焼の器と地域農産物を活かした有田の名物料理の創作、新しく誕生した有田町の観光ルートづくり、さらには新有田百景を選定し今後の有田観光振興に役立てる。
指宿商工会議所 (鹿児島県)	【「指宿オクラ物語」開発事業】 生産量豊富な「オクラ」の加工品(オクラジュース・お菓子)を開発し、健康をキーワードに試験販売、パンフレット作成・物産展等の方法でPRを行い、地域の知名度アップと集客を狙う。
宮古島商工会議所 (沖縄県)	【「みゃーく総合マーケティング事業」～特産品の生産から販路開拓までの仕組み作り～】 パパイヤ、ローゼル、多良間山羊の地域資源を活用した特産品を開発し、地域ブランド化を図り販路開拓を行う。また、環境浄化やイベント開催、宿泊斡旋等を含めた観光事業を整備する。

(商工会分)

事業実施者 (都道府県)	実施概要
北海道商工会連合会 (北海道)	【北海道ブランド生き生き地域再生事業】 「北海道ブランドによる生き生きした地域の再生」を基本テーマとして、プロモーション、マーケティング、ブランド化に係る3つの戦略を有機的に組み合わせ、中期計画に基づき、全国的な販路開拓による北海道ブランドの確立に向け、段階的に取り組む。
江差商工会 (北海道)	【伝統芸能を活用したシニア向け学習プログラムの開発と長期滞在客受入施設の拡充】 江差を中心とした新たな観光開発を行い、宿泊型の長期滞在観光を推進することを目指す。そのために、江差のライフスタイルを紹介し、さらに長期滞在のモニターツアーを実施することによって実際の参加者を募るとともに、地元の建設協会、家づくり研究会、女性団体、及び地元事業者が参画し、町全体で取り組む。
赤井川村商工会 (北海道)	【地域資源(素材)を活用した特産品開発と「日本で最も美しい村」宣言・全国展開事業】 湧き出る岩清水を活かした「ボトルウォーター」及び、農産物と有用山野草を活かした「薬膳カレー」を新たな地域特産品として開発した後、大都市圏の流通業者や消費者の評価等を調査研究を実施し、品質の向上、販路拡大に結びつける。
鷹栖町商工会 (北海道)	【新事業全国展開支援事業】 素材生産者と製品製造販売業者の経営安定化、商業者の商業機会の拡大、雇用の増加を目的とし、新鮮、安全、安心、生産者の顔の見える素材の入手が容易であるという利点と地場の有用作物のもつ生体調節機能を活用し、付加価値の高い健康食品をつくり、さらに既存商品との組み合わせ等により販路拡大を図る。
美瑛町商工会 (北海道)	【美瑛産小麦「香麦」の販路拡大・商品開発プロジェクト】 美瑛町産小麦「香麦」の全国への販路拡大及び、その小麦からつくられる商品の開発、そして、地元消費者・事業者向けに「香麦」の産地消費活動を展開していく。販路開拓のポイントとして、消費者の求める「食の安全と安心」をテーマに、海外産輸入食品との差別化を図るため、生産者と協力してトレーサビリティシステムの構築によりブランド化及び販路拡大を行う。

事業実施者 (都道府県)	実施概要
和寒町商工会 (北海道)	【天塩川流域野菜の企業向け半製品開発プロジェクト】 地元農産物の規格外品等使用し、企業向け(食品製造業者等)に提供できるよう一次加工を施し、付加価値を高めた上で半製品を試作し、PRして地元経済の活性化を図る。具体的には、カボチャのスライス、ブロック、粉末など半加工製品を企業向けに試作する。更に、最終消費者にも提供できるような半製品を模索する。
枝幸町商工会 (北海道)	【美味探求 えさしの仕事人】 優れた水産加工製品を中心として、かにの町「枝幸」にある既存のブランドにあやかりながら、各種媒体を利用したPRを行ったり、カタログ通販など消費者と直結した販売及び商談会・展示会を通じて新流通網の開拓、また新たな販売チャネルにより販路拡大につなげ、小規模水産加工業の振興と地域経済の活性化を図る。
清里町商工会 (北海道)	【「世界遺産知床に続く斜里岳のまち清里の挑戦】 観光パンフレット・ガイドブック・ホームページ等の作成による観光資源PR、ガイド及び観光関連事業者の研修育成による資質及びサービスの向上、地域農業者と観光関連小規模事業者との連携による滞在型体験観光の創出、ツリークライミング・森林ウォーク等の新たな体験型イベント開催による交流人口の増加及び指導者の養成による今後の事業展開等、地域の観光振興を図る事を目的に事業を実施する。
雄武町商工会 (北海道)	【「雄武の食卓」全国展開プロジェクト】 ダッタンそばコロケ、ダッタンそば海鮮ふりかけ(鮭、ホタテ)、ダッタンそば海鮮茶漬(鮭、ホタテ)の早期商品化の実現に向けて試作品の調査研究、そして「我が町雄武町」を一目見てイメージでき、そして町民の温かみなど雄武の地域の特性を全面に出したパッケージデザインを施し、全国発信する。
白老町商工会 (北海道)	【地域食材と伝統文化を生かしたふるさと再生事業】 アイヌ伝統の食材の燻製化、パッケージデザインや商品の物語性を研究することによる既存製品の販路拡大を実施し、特産品として再開発し全国展開する。また、地域の独自文化と豊かな自然が融合した自然ガイドツアー商品の開発を実施する。
別海町商工会 (北海道)	【販路開拓展開事業】 企業間連携の窓口として商工会が中心となり本事業を活用し、小規模な事業者と中規模な事業者が連携したパッケージ商品(詰め合せセット)を模索しながら季節感と産地直送のイメージ展開、特産品を利用した調理レシピを併せたブランド化を確立する計画である。これにより小規模事業者の育成に繋げ、個店事業拡大の一步として効果を期待する。
中標津町商工会 (北海道)	【道東の地域資源を活かした長期滞在のための地域観光プログラムの開発と普及】 中根室地域に育まれてきた産業・文化・風土などの一般素材を学習の観点から深く掘り下げた長期滞在型の観光プログラムを開発し、それを普及することにより、新たな観光ムーブメントを実現し、将来的な長期滞在観光の担い手を支援・育成することを目指す。
羅臼町商工会 (北海道)	【羅臼ブランド確立と魚の城下町づくり】 水産加工業者と自社加工場のない漁業協同組合とが連携し、お互いの商品を組み合わせたセット商品づくりやパッケージデザイン作成、養殖昆布生産過程で間引きして捨てられる若い昆布の商品化事業、極上「羅臼産銀毛鮭」の販売に係るブランド名入りパッケージデザイン作成及び商品づくり事業などを行い、「魚の城下町らうす」らしい特産品づくりを推進する。
青森市浪岡商工会 (青森県)	【ミニチュアりんご樹の商品開発と販路開拓事業】 バイオ技術を活用したミニチュアりんごの商品開発と販路拡大を実施する。ミニチュアりんご樹とは、バイオ技術によって生まれた高さ30～50cmの樹であり、実るりんご(ふじ・王林が中心)の大きさは、普通のリんごと変わらない。本事業は、1年限りで終了するという独自性を持ち、盆栽りんご・観賞用りんごと違い、人気商品になれば商品需要が望める。

事業実施者 (都道府県)	実施概要
大槌商工会 (岩手県)	<p>【新鮮ワカメ健康の里づくり事業】 味が良く、栄養満点の三陸ワカメを多くの事業者の商品として育て上げ、これを梃子に水産加工業者の技術力とマーケティング力の強化を促進する事業を展開する。世界三大漁場として名高い三陸海岸の水産資源も、近年では養殖漁業に負うところが大きく、「冷凍ワカメ」の推進と販路開拓事業が、産地としての地域ブランド力の向上と、食文化を活用する地域観光の振興を図る。</p>
秋田県商工会連合会 (秋田県)	<p>【“秋田に行って美人になろう”プロジェクト】 秋田美人をキーワードに県内各地に点在している温泉を核とした事業展開を図りつつ、既存資源への新たな価値の付加を提案する。埋もれた資源抽出と活用等の検討を実施し、地域資源をブラッシュアップする。また、温泉を基軸としたオプション「観光パッケージ」、秋田美人倶楽部(仮称)を創出する。</p>
白神八峰商工会 (秋田県)	<p>【ツーリストインフォメーション ～白神へのいざない～】 地域の持つ魅力を十分に活かすことのできる観光ルートを確立し、従来のものとは違ったスタイルを構築し、その中で森林・農業のグリーンツーリズム・海のブルーツーリズム・環境のエコツーリズムを含んだ新しい企画を首都圏等広範囲にむけて情報発信することで観光客の誘致を増加させることを目指す。</p>
山本南部商工会 (秋田県)	<p>【高級品から庶民の味へ ～地元での食べ方(じゅんさい鍋料理)の普及～】 三種町森岳地区は昔から沼や貯水池が多く、「じゅんさい」は、それらの大部分の湖沼に自生している。以前は自家消費や知人、親戚への手土産品として採取されていたが、昭和10年頃から加工工場ができ、戦後全国に販路を拡大した。この「じゅんさい」に付加価値を付け、「じゅんさい鍋」を創出し、観光資源として確立し地域振興を目指す。</p>
昭和飯田川商工会 (秋田県)	<p>【「新・八郎湯産つくだ煮」地域ブランド展開】 かつて全国で二番目に広い面積をもった八郎湯では、「つくだ煮」産業が発達しているが、県外消費者における知名度は低い状況であり、現在の主力商品である「わかさぎのから揚げ」をベースにした商品を開発し、従来のお惣菜市場に加えて、「スナック市場」を新たに開拓して市場を拡げていく。</p>
にかほ市商工会 (秋田県)	<p>【鳥海山麓七つの自然を全国発信～日本人が忘れかけていた癒し・ふるさと再発見の旅へ～】 地元の人々との交流を通じて昔の良き暮らしを懐かしみ、のんびり旅をしたい、といった中高年齢者をターゲットに鳥海山麓七つの自然をPRする。同時に、地域資源を活用した特産品開発を実施し、郷土料理の開発及び食品・お菓子の開発や既存商品のリニューアルを行い、全国に広く販路開拓を図っていく。</p>
仙北市商工会 (秋田県)	<p>【ファーストフード DE スローライフ (日本の中の日本のふるさとが贈る全く新しい地域加工品)】 国内有数の観光地であるが、受け入れ限度を大幅に超えており、“渋滞・行列”が発生している。よって、米、粟、粟、稗、きび、豆といった穀物をふんだんに用いたファーストフードを開発し、健康に良く、歩きながら・喋りながらといった“ながら喰い”ができる加工食品を開発する。</p>
平鹿中央商工会 (秋田県)	<p>【美味(うま)し国」横手平鹿プロジェクト 06】 「地域資源活用」と「観光商業推進」を図るために、地域「4大鍋(汁)料理」の開発と地域メニューとしての共有・ブランド化を図り、販売まで結びつける。また、既往施設との連携、歴史・文化資源活用による新たな観光4メニューの提案をする。</p>
ゆざわ小町商工会 (秋田県)	<p>【売り込め！ 匠の里(いなかわ)ブランドの競演】 当地域の全国レベルのポテンシャルを持つ特産品(秋田仏壇、三梨牛など)は、スロープロダクト、ハンドメイドに絶対的にこだわるものであり、今の時代の消費者が求めるの購買動機に合致する。そこで、当地域特産品を横断的にコラボレーションし、新パッケージ商品の創出を図る。</p>

事業実施者 (都道府県)	実施概要
山形県商工会連合会 (山形県)	<p>【'田舎再発見! “最上川ツーリズム”】 観光と物産を新たな連携により再構築するために「最上川」をキーワードとして地域資源を活用した以下の事業を県内の商工会及び会議所と共同して展開する。観光と食、自然体験と地元住民との交流といったような複数の観光資源を組み合わせた観光ルートの作成や、既存の特産品の改良や組み合わせによる料理開発を実施する。</p>
西川町商工会 (山形県)	<p>【西川町観光ルネッサンス-人間再生をキーワードに長期滞在型観光資源開発-】 東日本最大の霊場:出羽三山を舞台に「人間再生、人間性回復」の舞台として長期滞在マーケットでの位置を確立したい。長期滞在マーケットの主役となるであろう主に大都市圏の団塊シニア層を対象に実証実験=モニターツアーを実施する。同時に長期滞在マーケット自体の底上げを図る必要があるため、全国規模の企業と協働し有効で効率的な西川町のPRおよび長期滞在受入体制等の情報発信手法を検討する。</p>
猪苗代町商工会 (福島県)	<p>【「会津地鶏のロマンと会津蕎麦(会津在来種)の里」を実現する会】 福島県認定の「会津地鶏」を活用し、「純粋種として生きながらえてきた会津地鶏」として養鶏事業者とタイアップして生産の拡大を図る。また、料理研究家と猪苗代町の料理人との連携によって、「会津地鶏・会津在来蕎麦料理」を開発し、実験販売する。</p>
内郷商工会 (福島県)	<p>【薬膳を活用した観光開発事業】 食文化(薬膳)と歴史文化(国宝)の融合により相乗効果を生み出し、観光客の満足度を高め滞在時間を伸ばすため、観光開発に資するため、「薬膳」をキーワードとし、薬膳をベースとした特産品の開発により、お土産品としての付加価値を高め、差別化を図る。</p>
みなかみ町商工会 (群馬県)	<p>【まるごとみなかみ】 地区PR、地域産品等の販売促進効果とともに観光客に対し「楽しめる」という大きなメリットを提供する。同時に多くの地域住民に地元を誇るべき資源があるという認識を持ってもらえることを期待し、イベントのターゲットは観光客だけでなく地域住民も想定する。また、「桐細工」等の既存技術を活用し、当地のイメージにあった製品、値ごろ感のある製品、観光みやげとして記念になるような製品の開発を行なう。</p>
埼玉県商工会連合会 (埼玉県)	<p>【商工会特産品リバイバル支援事業】 県内32商工会地区の小規模事業者によって以前開発された特産品や、地域に昔からある地場産品等について、現在の販売状況等をアンケート調査することにより、市場拡大の障害となっていた問題点や課題を把握する。そして、各商工会に特産品等改善委員会を立ち上げ、地元でこれらの問題点や課題を改善する方策を検討し、特産品等のリニューアルに取り組み、展示会・商談会を実施する。</p>
和光市商工会 (埼玉県)	<p>【鍋文化の街づくり事業(鍋おこし事業)】 オール鍋化計画(飲食店編)として、飲食店にて「一店一鍋」の献立を作成するよう図る。11月初旬を「鍋解禁日」と設定し、オープニングイベントを開催する等しPRを図る。また、創出できた鍋についてオリジナル鍋用スープを商品化し全国的な展開を図る。</p>
新座市商工会 (埼玉県)	<p>【観光都市づくりにいざ 観光元年記念“わがまち発見ウォーキング” Supported by新座市商工会】 新座市観光の“背骨”をなす貴重な観光資源の「野火止用水」「平林寺」を、他のイベントとジョイントしながらウォーキングする事業を実施する。</p>
鶴ヶ島市商工会 (埼玉県)	<p>【つるの里特産品開発・販路開拓事業】 既に関済済みの商品「つるの里」に対する地元での認知と地域を特色付ける土産品としての利用促進を図る。また、「つるの里」の付加価値を高めるための取り組みを実施しつつ、ホームページ等を通じ情報発信し、近隣の高速道SAやスーパーマーケット、百貨店等における販売促進活動の展開を図る。</p>

事業実施者 (都道府県)	実施概要
皆野町商工会 (埼玉県)	【荒川皆の特産品、荒川皆のまちごと博物館、荒川皆の手づくり市場工房劇場】 豊かな農産物および景勝地が多いなど多くの地域資源があることをいかし、皆野のまちごと回遊観光と中心街での市場工房と劇場で観光客集客をはかり、中心街荒川流域の特産品の市を開催し、200万人の秩父観光客の皆野への集客と観光消費の拡大を通じ当地区の産業である食製造業と商店街、サービス業の活性化をめざす。
幸手市商工会 (埼玉県)	【幸せアプローチ事業】 既存の開発品『幸手 幸せ物語』を題材として大学との連携による、『幸手 幸せ物語』の映像化を行い、広く全国的なPRを実施し、全国展開の足がかりとし、あわせてイメージキャラクターとなる『神様犬ぶー』の新規オリジナル商品開発を目指す。
千倉町商工会 (千葉県)	【食によるまちづくり】 千倉町には日本で唯一料理の祖神を祀る高家(たかべ)神社がある。こうした伝統ある食に着目し、直接観光(宿泊客の増加、特産品の販売等)に結び付けるだけでなく、基幹産業である農業・漁業・水産加工業の活性化の一手段ととらえ、地元産の食材を使った特産品の開発や料理の普及、料理の祖神を祀る神社のある千倉にふさわしいグッズの開発を積極的に推進する事により、産業の活性化を図る。
東京都商工会連合会 (東京都)	【東京多摩観光プランナー塾 ～磨けば光る多摩の観光～】 多摩地域の特色ある商工業者・商店街が有する、観光資源としての潜在的価値を発掘し、さらに、商品化にチャレンジしてマーケットの評価を受ける機会を創出することにより、多摩の地場産業に根ざした観光振興を図る。従来の都内「東京観光」や奥多摩「自然観光」参加者をターゲット層としてとらえ、都内から一歩足を伸ばして、もしくは、奥多摩まで行かなくても楽しめる観光商品を開発・提供することを目指す。
八丈町商工会 (東京都)	【「映画を活用した八丈島活性化」～新しいメディア戦略とビジター誘致による、島の小規模事業の活性に向けて～】 八丈島の風土や産物を取入れた映画を全国で上映すること、映画と島が連動したウェブサイトを作成することで、八丈島の魅力と存在を島内外の人々に伝える。そして「映画の島、文化の島」であることをメディアに打ち出し、島のブランディングを行う。また、製作過程をメディアで追うことによる宣伝効果、撮影中のスタッフの滞在、および映画に感動し同じ場所を体験したくなる観光客による経済効果と、サービス業関連などの小規模事業者
相模湖町商工会 (神奈川県)	【環境と経済のマッチング事業 ー水源地発！環境にやさしい洗剤開発事業ー】 用途別の洗剤と石けん、また廃油を利用した石けんづくり専用溶液を開発し、総合的に「水源地発！環境にやさしい洗剤」を地域ブランドとすべく、相模湖地域住民にパンフレットなどを配布して、洗剤の十分な理解を求め、商工業者全員が使用するなど洗剤の普及を図るとともに、相模湖地域の地域性を訴え、洗剤の使用の有効性をアピールし、相模原市の洗剤としての「市民権を得る」活動を行う。
富山県商工会連合会 立山町商工会 上市町商工会 大山商工会 (富山県)	【北アルプス立山連峰を満喫】 北アルプス立山連峰山麓の観光振興と北アルプスの水を使用した商品の全国販売を行うためのセールスプロモーションを行い、観光関連や特産品を生産・販売する地域の小規模事業者の振興を図る。
大沢野細入商工会 八尾町商工会 山田商工会 婦中町商工会 (富山県)	【来街者との協創による特産品市場化プログラム】 「全国から多くの来街者がある」という地域資源を活用し、イベント(「おわら風の盆」、「坂のまちアート」、「手の仕事市」等)の機会を通じて等の機会を通じて訪れた来街者による特産品(試作品)を冷静な第三者的視点で評価していただくことで、消費者とともに特産品としての完成度を高めることを目指す。
白山商工会 (石川県)	【白山麓・賑わい創出事業 ー健康をテーマとした白山ブランドの創出と白山麓・交流人口拡大をめざしてー】 地域の住民や事業者が自信をもって将来に生きていける新たな白山ブランドの創出を目的として、健康をテーマに設定した豊かな白山麓の大自然と温かい人のおもてなしを体感できる高付加価値型の旅行商品の造成・誘客活動を地域一体となって取り組むことにより、白山麓への交流人口の拡大を図り地域の賑わいの創出を目指す。

事業実施者 (都道府県)	実施概要
山中商工会 (石川県)	<p>【「山中節と漆器職人」に出会う ゆったり山中温泉の旅】</p> <p>山中温泉地域において「この地域の伝統文化から生まれた」資源(地域の民謡 山中節、伝統工芸 山中漆器)を活用する事業を企画し観光開発を行う。「偽物ではない本物を見たい。本物の商品とその裏側にある物語に触れたい」という消費者層に認めてもらえる観光地と成ることを目指す。</p>
能登町商工会 (石川県)	<p>【魚の美味しいまちづくり事業】</p> <p>「能登の魚」を活用した長期体験型旅行パッケージプランの確立や、定住人口の拡大が新たな能登の魅力の発掘・創出・発信、人材育成、そして観光産業を中心とした経済の活性化、雇用の創出等を図り、実際に能登を体験しその資源のすばらしさを体感することで、能登のファンが増えブランド化のさらなる進展を目指す。</p>
福井県商工会連合会 (福井県)	<p>【特産品販路開拓支援事業】</p> <p>全国規模での販路開拓が実現できていない特産品の開発、改良を行い、全国への販路開拓を図っていく。「店舗・イベントルート」と「ネット販売・カタログ販売ルート」の両面から、特産品の販路開拓への有効な方法を探り、他企業への応用・共有化できるような特産品販路開拓マニュアルを策定し、地域の企業の自立した販路開拓活動を支援するツールとしての活用を図る。</p>
南アルプス市商工会 (山梨県)	<p>【南アルプス桃源郷フルーツプロジェクト】</p> <p>フルーツ体験観光モニターツアーとして、ファミリー層向け観光体験ツアー、首都圏のキャリア女性層向けスイーツ限定ツアーを実施し、フルーツ特産品マーケティングとして、完熟フルーツの新流通経路の構築、フルーツ利用した南アルプススイーツの開発、フルーツパーラーの普及を実施し、果物の産地である南アルプス市と首都圏を結ぶツールとして“フル</p>
北杜市商工会 (山梨県)	<p>【合併後の地域産業リマスター・プロデュース事業～北杜市の都市近郊型ロングステイ観光資源開発と全国展開～】</p> <p>北杜市は、日本を代表する美しい山々と清らかで豊富な水資源、高原性の温暖な気候を有し、団塊シニア層の望む新しい観光スタイルを現実化する舞台として非常に魅力的な地域である。この新たなロングステイ・マーケットの登場を追い風にして、旧町村に多数存在する豊富な観光資源を繋ぎあわせて資源開発をかけ、さらに全国組織の企業と連携して全国展開を行っていく。</p>
身延町商工会 (山梨県)	<p>【(株)身延観光センター設立による身延ブランドの全国展開事業】</p> <p>身延ブランドを確立し、身延町を全国区にするためのモデル事業を実施する。これと平行して、このモデル事業を持続、発展させる組織、(株)身延観光センター(仮称)(以下「身延観光センター」)を官民協働での立ち上げを目指す。</p>
小谷村商工会 (長野県)	<p>【雪資源を生かし、着雪防止スプレーの試作品開発並びにNTC融雪パネル(炭素素子発熱体フィルム)による屋根雪融雪実験及び試作開発商品の市場調査】</p> <p>積雪地域での、過疎地域住民の高齢化により除雪作業の困難や危険性が増したり、現代生活習慣による除雪の回避傾向等を要因に、冬期除雪作業の負担軽減を図るため着雪防止の効果継続して実証するとともに、着雪防止スプレー缶として試作化並びに販路開拓を地域事業者と共同して実施し、積雪地域の地元事業者ならではの日常除雪作業負担軽減の画期的な商品サービスを提供する。</p>
高山南商工会 (岐阜県)	<p>【飛騨高山産健康唐辛子新製品開発及び全国販路開拓事業】</p> <p>安全安心健康思考という社会現象を追い風と認識し、「旨くて辛い」特許製造の熟成唐辛子粉体を活用した新商品を幅広く開発、提案販売を行う。他では真似の出来ない製法技術特許、及び山間地トンネル活用の製法特許の取得を目指す。</p>
中津川北商工会 (岐阜県)	<p>【「薬師の郷」づくりプロジェクト】</p> <p>ターゲットをLOHAS(ロハス)を求める女性や家族など小規模グループとして、「健康」と「食」をテーマとした地域資源(温泉、唐辛子、薬草、東濃ひのき等)の活用により、中津川北地域を「薬師の郷」として地域活性化を目指す。</p>

事業実施者 (都道府県)	実施概要
白鳥町商工会 (岐阜県)	【奥美濃カレープロジェクト】 B級グルメは親しみやすく誰もが食することができる手軽さと味の深さから「食」のシーンの花形となっているため、健康にも効果があり子供からお年寄りまで多くの人に愛される国民食「カレー」に着目し郡上ご当地カレープロジェクトを推進する。
八百津町商工会 (岐阜県)	【八百津の食を活かした八百津ブランド構築】 購買動向は無農薬国内原料へのこだわりや限りある資源の有効利用・リサイクルなどこの社会現象を認識し、小さな町・八百津町ならではの他でまねのできない特色ある商品開発をスタートさせ、さらにこの商品を軸に現存するほかの商品もからめて新しい販売方法を模索し、全国展開を目指す。
静岡県商工会連合会 (静岡県)	【しずおか・うまいもの創生事業～静岡茶ブランドの再構築～】 販路拡大に意欲ある小規模事業者がさらなる販路拡大を図るため、生活形態の変化に伴い多様化する消費者ニーズ等に応え、さらにお茶産地の強みを生かした、新たな緑茶(リーフ茶)の家庭用及び贈答用商品を開発し、流通業者を対象にした全国規模で開催される専門見本市等に出展し販路拡大等の支援を図る。
裾野市商工会 (静岡県)	【「すそのギョーザ」による地域のブランド化事業】 大和イモ、モロヘイヤ、タケノコ、椎茸等の地域の食材を活用して、地域の特徴を打ち出し、「すそのギョーザ」を特産品として育成して地域ブランドの確立を目指す。
東伊豆町商工会 (静岡県)	【ひなのつるし飾りの里づくり事業】 伊豆稲取に古くから伝えられている「ひなのつるし飾り」は女の子が生まれると初節句に合わせ、母親、祖母はもとより親類縁者の女性はその子の健やかな成長と幸せを祈り一針一針、思いを込めながら手作りするものである。このつるし飾りの根底に流れる「思いやり」の気持ちを基本コンセプトに様々な事業を展開していく。
大仁町商工会 (静岡県)	【映画・ドラマロケ誘致をきっかけとした観光地域魅力作り事業】 設立から5～6年が経過しているロケ誘致団体フィルム・コミッションを既存の観光資源のさらなる魅力付けのされたものとして、その資源を地域内で精査・共有し、今後の受入の基盤整備を行うと同時に、全国規模のプロモーション活動を展開し、恒常的に地域の付加価値を高めることの出来る活動を継続することを目指す。
鳴海商工会 (愛知県)	【店、街、地域を表現する絞りの手作りのれんの開発】 今までつちかって来た(有松・鳴海)絞りの手技を活用して、個人、店、街に合った、又、それぞれの要望による、個性的な絞り染めののれんを開発する。業種を表現するのれん、街を表現する色で統一したのれん、地域の人とのかかわり合いの中で作られた作品等を染めこんだのれん等、要望に応じて、生産者から直接消費者に提供する。
知立市商工会 (愛知県)	【元気な愛知のど真ん中・池鯉鮒宿の こうぼっちゃんま と 元気な仲間たち】 ・市内最大の地域資源「知立の弘法さん」とキャラクター「こうぼっちゃんま」を全国ブランドに確立し、今はシャッター通り化している 知立駅周辺商店街を、巣鴨のとげめき地蔵の東海版と言われるような「元気ある商店街」に再生するのをはじめ、まちと小規模事業者の元気を取り戻すとともに、新たな創業者の創出をはかることを目的に、特産品開発と観光開発事業に取り組む。
田原市商工会 (愛知県)	【特産品ブランド「華山の郷土(さと)」のニューフェイス】 今回の事業ではゆったりと自然を味わい楽しもうと言うスローフードに共感する消費者(特に女性)をターゲットとして地元素材の農畜水産物100%を使用した安心安全な田原ブランドとしての特産品(食品)づくりに取り組み、全国に対し健康と活力をイメージした商品開発を展開する。

事業実施者 (都道府県)	実施概要
師崎商工会 (愛知県)	【師崎商工会「多幸、福、生き貝の島 日間賀島のブランド化」創業事業】 全国に通用する日間賀島(島そのもの)のブランド化創業事業をはじめ、「滞在型の島」を長期計画で実現させる、イルカの介在療法、泊食分離システムの導入等を図り、自立した地域経済循環の確立を目指し、時代の変革期に新たな思いでチャレンジする。
志摩市商工会 (三重県)	【「団塊世代に“癒し”を提供する志摩スローライフ宣言及び産業観光を用いた地域活性化の取り組み】 団塊世代に“癒し”を提供し、志摩でスローライフを実現していただくことを目的としこれまで自然・景観や歴史的名所旧跡、イベントなどで短期宿泊客の獲得を目指してきた従来型の観光から脱却することを目指す。都市部に住んでいる団塊世代、アクティブシニアを対象にした実証実験を行うことによりニーズを把握し、目線に合わせたレベルの高い“癒し”の長期滞在観光サービスを開発する。
伊賀市商工会 (三重県)	【「伊賀ブランド」—スローライフ時代の“木・金・土(陶)のコラボレートによる新テーブルウェア”開発・全国展開】 「伊賀焼」事業者と伊賀の主要産業の一つである「製材業・材木加工業者」が連携して、高齢者やハンディキャップを持つ人でも安全で扱いやすく、またIHヒーターに対応する付加価値の高い「テーブルウェアとしての土鍋」とそれに付随・関連販売する「木製のカタラーリ・食器類」の開発を行い、「伊賀ブランド」の一環として全国展開を図る。
大台町商工会 松阪西部商工会 (三重県)	【地域特産品である緑茶(煎茶)の高付加価値化(茶品評会仕様)を通じたブランド化戦略】 当地域はお茶(荒茶)の生産量は全国でも有数であり、品質も高い評価を得ているが知名度が低い。そこで茶品評会用の煎茶を市場に提供することで緑茶市場の新たな需要を開拓し、小規模事業者の活路を見出すと共に地域緑茶業コミュニティビジネスを形成することを目的とする。
紀北町商工会 紀和町商工会 御浜町商工会 紀宝町商工会 (三重県)	【“いやしの宿と食”コラボ・プロジェクトIN世界遺産・熊野古道～受け皿づくり・CIづくり～】 やる気のある小規模事業者を対象に、新しいライフスタイルの価値観である安心・安全な“食”と“健康”といった観点から“いやし”を事業展開の戦略テーマとし、東紀州商工会地域(紀北町・御浜町・紀宝町・紀和町各商工会)が『熊野古道』を“いやし”の受け皿づくりの核に地域の魅力・資源を再発掘し、地域ブランド創出、観光振興、新商品開発など創意工夫により全国展開が可能となる事業に取り組む。
稲枝商工会 (滋賀県)	【新稲枝特産品「ナチャップ」商品化・販路開拓事業】 地元特産「彦根梨」を利用した新たな特産品として作られた彦根梨をベースにしたさっぱり味の調味料、「ナチャップ」の商品化、販路開拓を行い稲枝の特産品として定着させていく。
高島市商工会 (滋賀県)	【「たかしまベリー・フルーツの里」構築事業】 高島市における産業振興のビジネスモデルのひとつとして、地域内で栽培されているベリー・フルーツに加え、ブラックベリー、カシス、クランベリーを新たに栽培するとともに、その他の果実とも併せて活用し、第1次、第2次、並びに第3次産業を統合した「第6次産業」として「ベリー・フルーツの里」の実現を目指すことにより、観光客の誘客を図るとともに、特産品を開発・販売し、地域ブランドを確立することにより、雇用の創出に繋げていく。
安土町商工会 (滋賀県)	【安土観光振興塾と安土「湖川の街道(うみのみち)」事業】 JR安土駅を基点とする安土町内の観光循環ルートとして、従来の陸路のルートに加え、「西の湖」や安土城下の水路・河川を活用した水路ルートを確立し、街中への観光客誘導促進と商店街の活性化を図ると同時に、地域住民のもてなしの心(ホスピタティー)と美化意識を育成していく。
五個荘商工会 (滋賀県)	【みんなでおもてなし。「レトロな五個荘・再発見！」事業 ～温故知新・五個荘 近江商人食の復活そして未来へ～】 近江商人をキーワードに四季折々の食材を利用し作り上げたメニューを全国に広めるために製品化し、特産品として開発していく。これにより、観光客にPRできるだけでなく、イベント等を通じて地域の住民を巻き込み、最終的には地域の看板商品としてレシピ公開を行うことにより、更なる活性化を図る。

事業実施者 (都道府県)	実施概要
湖北町商工会 (滋賀県)	<p>【安らぎと癒しの琵琶湖岸創造プロジェクト】 当町の貴重な地域資源である琵琶湖岸を、安らぎと癒しの水辺空間として全国に発信できる地域として整備し、琵琶湖と田園の中で長期滞在してもらえるような地域づくりを目指して 湖岸地域保全活用事業構想の策定、保養・観光温泉施設の実施計画作成及び実施主体の設立、全国への当地域の知名度アップの事業(旅行企画・ポスター他)等を実施する。</p>
京北商工会 (京都府)	<p>【京都北山ブランド名物名所づくり事業】 歴史ある京北地域資源を生かした観光・産業をブランド化して商工農水と観光産業を一体化した再開発をする。具体的には糸引き納豆発祥の地「山国納豆」の特産品をメインとして、関連する地域特産資源の再評価をして全国へ向けて発信できる京都北山ブランドを創設、大都市近郊と緑豊かな環境を生かした、健康と農林体験を盛り込んだ観光プログラムの提案と受け入れ態勢の確立を行う。</p>
伊根町商工会 (京都府)	<p>【舟屋の郷を“町民感覚”で満喫する、舟屋観光開発プロジェクト】 重要伝統的建造物保存地区である、住宅と船庫とが一体化した建築様式の「舟屋」の集積など、伊根町の優れた地域資源を充分活用し、表層的な観光に留めないためにも、地域が主対象とする個人旅行者をターゲットとした観光ガイドの仕組み、高質な旅行商品・プログラムの開発・評価を行う。</p>
河内長野市商工会 (大阪府)	<p>【かわち手みやげ逸品開発事業(①食の和プロジェクト②ナンテン化粧品プロジェクト)】 名刹「延命寺」のある三日市地区と「南天の里」天見地区の地域資源を活用し、食の和セット(飲んで食べて爪楊枝)と化粧水を「手みやげ逸品」として開発する。具体的商品は健康茶+延命もみじ煎餅+爪楊枝のセット及びナンテンと蜂蜜を利用したローションである。食の和セットは延命=長生き=健康というイメージで他の商品とのセット化も検討する。</p>
能勢町商工会 (大阪府)	<p>【伝統文化の黒子隊 ～まちの芸能活性化大作戦～】 能勢町には、江戸時代から伝わる浄瑠璃という伝統芸能がある。現在浄瑠璃を維持していくための道具類及び、小物類が製造、修理、入手が困難な状況にあるため、我が町の伝統芸能と既存の伝統技術を融合し研究開発することにより、できるかぎり安価で道具類を提供し、伝統芸能保存のサポートと伝統技術復活、地域の活性化への貢献を図る。</p>
熊取町商工会 (大阪府)	<p>【制菌繊維等調査販路開拓事業】 地場産業の活性化を図るべく新製品「制菌タオル」を開発、特許出願し、医療・介護関係を中心に販路開拓を行うが、製品評価は高いが門戸は狭く厳しい状況である。そこで、本事業を活用して市場・マーケティング調査等を行い、ニーズにあった製品開発を行い販路開拓に努める。また、「制菌」の認知度が低い点もあり、PR等をおこない、地場産業の活性化を図る。</p>
南あわじ市商工会 (兵庫県)	<p>【淡路いぶし瓦の特性を生かした新製品の開発及び観光資源化事業】 いぶし瓦の特性を生かした製品の開発及びいぶし瓦の技術を応用したオブジェを開発し、それを活用した街並みを創出、観光資源化する。</p>
吉野町商工会 (奈良県)	<p>【吉野の恵みを余さず使おうプロジェクト(吉野発エコデプロダクト)】 「吉野の恵みを余すことなく使う」リノベーションを起こし、吉野が昔から行なってきた循環型概念を更に一歩進める。新たな用途を生むための素材開発のキーワード、織る・折り曲げる・重ねる・編む・貼る・縫う・燃えるを考え更に異なる素材を組み合わせることで、目的の商品に相応しい素材開発を行い、素材の徹底活用に繋げることで、吉野素材の新たな魅力を引き出すことを素材開発の目標とする。</p>
すさみ町商工会 (和歌山県)	<p>【ポイント】「ケンケンかつお」のブランド化を目指した地域あげでの取り組み 「ケンケンかつお」を活用した新たな商品・サービスの開発や、IT活用を含めた情報発信を行うことによって、「ケンケンかつお」の全国的なブランド化を目指す。ブランドを確立させることにより、すさみ町の基幹産業である漁業が潤うことによる消費の拡大や新規雇用の増加等、地域の活性化に繋がる。</p>

事業実施者 (都道府県)	実施概要
串本町商工会 (和歌山県)	【トッピー商品とわくわくもっと発見！】 トビウオをはじめとする黒潮の育む魚介類やキンカン、ポンカン、そしてリアス式海岸がもたらす大自然等の地域資源を見直し、商品づくりや体験ツアーの開発により人的交流、情報交換を推進していくことと様々な体験メニューをととした体制を掘り起こしたいと考える。
鳥取県商工会連合会 (鳥取県)	【「食と文化の宝石箱」鳥取ブランド推進プロジェクト】 全国規模のマーケットを目指す意欲と優れたシーズを持つ地域小規模事業者を支援するため、鳥取県が誇る地域資源「鳥取砂丘」と「大山」を核とした食材の開発、とっとり自慢認証商品の活用、観光振興を通じて「鳥取ブランド」の確立を図る。また、首都圏でのセールスプロモーション、販路開拓など各種事業を通じて企業の育成、自立化に取り組む。
島根県商工会連合会 (島根県)	【島根県と他県「Local to Local」の共同連携で全国に広がる 消費者参加型の商品・販路づくり支援事業】 商工会の一番の強みである全国商工会ネットワークを活かし、島根県と他県(大都市以外)との共同・連携により、以下のような事業を推進する。1.「商品・販路づくり」塾の実施 2.消費者参加型の商品モニタリング、商品開発の実施 3.商品情報、商品にまつわるストーリーを伝える媒体の制作 4.スーパーマーケット・トレードショー内での合同商談会の実施
多伎町商工会 (島根県)	【「癒し・体験・縁結び」産業観光プロジェクト】 「マリンタラソ出雲」において新しいサービスを実施するとともに、地元資源を活用した商品を開発を実施する。サービス・商品の構築にあたっては、地元顧客・広域顧客のニーズに適したものを想定する。本年度は、「マリンタラソ出雲」開業の宣伝・広域顧客向けの誘客商品の開発を実施する。
岡山県商工会連合会 (岡山県)	【晴れの国岡山のオリジナルブランド「サンさん晴れのめぐみ」特産品のさらなる販路拡大】 アンテナショップ「サンさん岡山」で取り扱っている既存商品の改良、新企画商品の開発により全国的に通用する特産品を育成する。同時に「サンさん晴れのめぐみ」特産品の認証委員会を立ち上げ、地産地消・安全安心・健康といった基準を充し、安心して消費者が選択できる岡山発の特産品としての確立や地域情報等をインターネットを活用してPRし、販路の拡大を図る。
真庭商工会 (岡山県)	【真庭フロントランナー「真庭ブランド」開発事業】 真庭ブランドとなりうる素材・商品である、地域の歴史から生まれた「さば寿司」、地域の天然資源から生まれた「温泉水」、地域の「農」から生まれた「ピオーネ」の3品目を全国展開の素材・商品とし、今後全国展開に必要なノウハウ、詳細調査、商品改良、開発を実施するものである。
和気商工会 (岡山県)	【和気町特産品活性化事業】 今までにある地域特産品・今後考えられる特産品を調査研究し、統一イメージに沿った販路開拓に努める事業を行う。地域内の特産品関係小規模事業者と協力して、地域資源を利用した新たな特産品開発及び既存の特産品の改良を行い、全国規模のマーケットを視野に入れた販路開拓を目指す。
久米郡商工会 (岡山県)	【「山里の香りをのせて夢開き」(食の安全にこだわった地域ブランドの創出)】 食の安全性にこだわり、地域で生産されるニューピオーネ(ぶどう)、きゅうり、黒豆、椎茸等の一次産品を主原料とし、地域ブランドとして開発する。加えてそのブランドに合ったキャラクターを作成し、ラベル等の商標として使用する。商品の販売については、専門家の意見を取り入れ流通業者への売込や地域・年齢層また健康志向の強い顧客に絞り差別化を図った販路開拓を行う。
広島県商工会連合会 (広島県)	【お好み焼き、もみじ饅頭に続け！広島名産 極上の広島黒鯛】 地元では真鯛よりも美味しいと言われる3月と9月頃に獲れる脂の乗った黒鯛を、「炊くだけ」「焼くだけ」「混ぜるだけ」など簡単に調理ができる「黒鯛めし」「黒鯛の浜焼き」「黒鯛の粕漬け」等に加工作る。面倒な調理や小骨を嫌い魚離れている消費者に対しても「下ごしらえ要らず」をアピールし、なおかつ1年間を通じて商品として提供できるものとする事で、広島黒鯛の販売を全国的に展開していく。

事業実施者 (都道府県)	実施概要
大野町商工会 宮島町商工会 (広島県)	【宮島及び宮島口地域を一体化した『夜の観光の魅力創造』による新たな観光資源開発事業】 日本三景の一つ『安芸の宮島』を中心に、ライトアップ、夜のアトラクションの定期開催、ナイトツアーや夜間遊覧船の運航等を実施し、『夜の観光の魅力創造事業』に取り組み、新たな宮島アピールを行うことにより、リピート客の創造、及び滞留時間の延長と宿泊の機会づくりを目指す。
大柿町商工会 (広島県)	【地域活性化のための水産物を牽引役とした江田島特産品の販路開拓事業】 かき養殖は、広島湾周辺における主要産業である。特に水産業が中心の江田島においては、かき養殖を中心とした水産業の回復が喫緊の課題であり、本事業では特許技術によりかき養殖と活魚を中心とした地域資源の販路を開拓することにより、水産業以外の産業も含めた地域の活性化を図る。
本郷町商工会 (広島県)	【廃棄物再利用による製品開発(特産品開発)及びニーズ調査】 本事業は、コーヒー殻・茶殻から地域ブランド製品を製造し事業化を図るものである。。具体的には、廃棄物再利用による製品開発(特産品開発)としてコーヒー飲料及び茶飲料の製造工程で出るコーヒー殻や茶殻を再利用し、新しい製品を開発する。試作品の開発は委託するが、製造および販売については、地元企業と連携して取組む。
作木商工会 (広島県)	【作木オリジナル”DASH村”事業】 人気テレビ番組”DASH村”を参考に、“農村文化”を商品化し、観光交流人口の増加を図り、農業と観光が融合する新たなビジネススタイルを形成していく。さらに、特産品も観光交流から生まれるしくみを構築し、ビジネスモデルと共に全国へ向けてアピールして行く。「”DASH村”のような体験がしたい人は、作木に行けばできる」を具体的に形にする。
川島町商工会 (徳島県)	【Big Bangbooプロジェクト～吉野川に浮かぶbamboo楽園～】 竹の素材的魅力に焦点を当て、工業的利用としての建築資材等への利用展開の研究及び商品開発、農業的利用としての土地改良剤としての研究及び商品開発と、全体像の構築としての「善入寺」ブランドの計画立案を実施。
小豆島町商工会 (香川県)	【オリーブの島小豆島と「醤の郷(ひしおのさと)」産業観光による地域活性化プロジェクト】 小豆島町の基幹産業は醤油・佃煮・素麺の食品工業と二十四の瞳・溪谷美の寒霞渓・オリーブの観光である。それらの地域資源を見直し、地域の特性を活かした産業観光に取り組み、観光による交流人口の増加を促進し、観光需要を喚起するとともに、特産品の販路開拓を目的とする。
芸西商工会 (高知県)	【都市から地方への交流移住サービス産業創出のための地域コンシェルジュサービス構築事業】 本事業は既存の商業・サービス業に代わる新しいサービス産業(地域コンシェルジュ(いわば案内人)サービス群)を創出し、既存商業・サービス業に代わる新たな移住型サービス業(いわば外貨を稼ぐ産業)を起業して地域を活性化しようとするものである。
福岡県商工会連合会 (福岡県)	【福岡ブランド育成事業】 「福岡ブランド.com」の効果と人気のノウハウを継承し、新たに福岡の観光スポットや名所・旧跡等を広く全国に伝え、県内外から観光客を呼び寄せることにより、観光客がもたらす地域振興ならびに経済活性を実現させることを目的として、福岡の観光情報サイト「福岡よかとこ.com」を開設し、既存の「福岡ブランド.com」とのシナジー(相乗)効果で総合的地域ブランドポータルサイトとして確立させる。
宗像市商工会 (福岡県)	【商工会合併記念事業・むなかた季良里全国展開事業】 「むなかた季良里」の商品開発や商品パッケージの専門家による商品指導会の開催、市民モニターによる試食会等を通じて、全国に通用する商品完成を目指す。また、むなかた季良里に認定されている43事業者の組織化を行い、専門家による指導を通じて展示会等への参加を促す。

事業実施者 (都道府県)	実施概要
水巻町商工会 (福岡県)	【「水巻でかにんにく」の特産品開発事業】 休耕田を利用して商工会女性部を中心に水巻町でもにんにくを植え加工品を特産品にしていこうと いうことで、環境づくり、加工品の開発(製品開発、生産体制の確立)、販路開拓(地域、全国)を行 い地域活性化を図る。
諸富町商工会 (佐賀県)	【環境と安全に配慮した子ども用インテリア・玩具の開発と全国各地の地産地消商品製作販売シ ステムの構築】 環境と安全に配慮した子ども用インテリア・玩具の開発、及び全国各地の地産地消商品製作販売 支援システムの構築を行い諸富家具の新たなブランドづくりを構築する。
富士町商工会 (佐賀県)	【都会人のふるさと郷『現代の湯治場づくり』プロジェクト】 町経済の中心的役割を担っている温泉旅館を活性化させ、地域経済全体を活性化させる。また、 田舎を持たない都会人のふるさととしてリピート重視型温泉郷の形成を進める。そのために温泉療法 プログラムの開発、子どもの学力向上のための「朝育」の開発、湯治場からの健康の贈り物事業、 ふるさと地域通貨の発行を実施する。
芦刈町商工会 (佐賀県)	【「佐賀の食ロマン」してむっ会】 1「こだわり商品の生産者」のグループを編成し、それぞれの販売チャネル、販売方法の組み立て を行う。2 佐賀県内の「こだわり商品生産者」グループと連携する。3「芦刈町の特産品」+「佐 賀の特産品」の複合で、全国に向けて販路を開拓する。
山内町商工会 (佐賀県)	【やまうちまるごと売り込みプロジェクト】 世界に名だたる『有田焼』を基幹産業に持ち、歴史と伝統と技術力に裏付けられた当産地の存在を 全国にむけ情報発信を図るため戦略を構築する。(新たな特産品の開発、有田焼体験ツアー、グ リーンホストファミリー制度の導入等を実施)
波佐見町商工会 (長崎県)	【長崎「波佐見焼」全国ブランド確立 バージョン・アップ事業】 波佐見焼は、一般食器の産地として繁栄してきたが、低価格の輸入商品の急増により、価格競争 が激化しますます厳しい状況にある。波佐見焼としての知名度を上げるために高級ブランドを開発 し、産地としての地域ブランドを高めるため、需要を喚起させるプロジェクトを結成し、新たな形で デザイン集団を組織して波佐見焼の高級ブランドを開発し、洗練された高品質の波佐見焼ブランド生 き残り戦略を図る。
有家町商工会 (長崎県)	【有家一店逸品蔵まつり】 当地区に古くからある酒蔵・味噌蔵・素麺製造施設を利用した歴史産業の振興と市民交流・交流人 口の拡大のためのイベント開催、施設と史跡等を連携による観光開発、さらに南島原市の特産品 となりうる「手軽で簡単即席島原手延うどん」の開発を本事業で実施する。
新上五島町商工会 (長崎県)	【五島手延べうどん全国ブランド化事業】 五島手延べうどんを「全国ブランド」として確立するために、宣伝事業による販路拡大と知名度の浸 透を行うこととする。
熊本県商工会連合会 (熊本県)	【WOKI (WAVES OF KUMAMOTO INFORMATION)事業】 商工会地域の観光ルート開発、特産品開発のが進んでおり、それらの観光・地域・特産品情報をカ タログ・CD・メールマガジン・情報社配・ホームページ等で情報発信を行う。各マスコミにてフレッ シュな情報として取り上げてもらう事により、県内観光客誘致或いは特産品購買意欲を高め小規模 事業者の活性化に寄与する。

事業実施者 (都道府県)	実施概要
泉村商工会 (熊本県)	【泉町全国展開支援事業(平家の里、大連携事業)】 既存の観光・歴史文化・産物等の自然素材をキーワードに見直しを行い、新たな観光メニュー・特産品等の開発を目指す。また、昨年度町内全域に整備されたケーブルテレビ網のインフラを活用し、これまで単体で観光事業を行っていた既存観光施設と事業者間の直接的なネットワークシステムの確立を目指す。
水上村商工会 (熊本県)	【ぶろじえくとみずかみ】 鹿、猪を使った特産品開発、温泉のPR等を行い、スローライフ、スローフード、地域住民全員による観光案内と観光案内所の設置により交流人口の増加及び1ターン定住を図る。
有明町商工会 (熊本県)	【タコと人とが集う町 ～地域ブランドの確立～】 本事業は『タコと人とが集う町』をテーマに『地域ブランドの確立』を目的としている。町内小規模事業者だけでなく、漁業者や農業者との連携を図りながら、色々な形でタコとふれあい、タコも住みよい町として、海の環境問題にも取り組みながら、『タコと人とが集う町』を目標に事業を遂行する。
大分県商工会連合会 (大分県)	【“焼酎のあるテーブル”大分から全国へ～焼酎・容器(ボトル)、酒器総合開発プロジェクト】 焼酎と工芸品といった観点から斬新なデザインのボトル・酒器を独自ブランドで開発し、ブランドデザインを展開できるデザイン企業、新しい取引先へと連結できる流通企業とを組み合わせ、事業のコラボレーションを行い、バーや料理店、焼酎愛飲者を中心とした販路を拡大する。さらに、小規模焼酎メーカーが共同で事業を行うことで、オリジナル焼酎を作る事も視野に入れる。
直入町商工会 (大分県)	【日本一炭酸泉ゼリー&入浴剤 直入ブランド構築プロジェクト】 地域の資源である日本一の炭酸泉を活用した商品開発(炭酸泉と湧水を活用した特産品:炭酸ゼリー、お茶菓子、入浴剤等)を行い、折り紙付きの「日本一炭酸泉」をより強固なものにして観光を進めてゆき、直入ブランドの構築、直入町のイメージアップを図る。
九重町商工会 (大分県)	【九つの温泉成分と地元産ブルーベリーを活用した”九重オリジナル”商品展開プロジェクト】 九重町の産品を利用した特産品、ブルーベリーや九つの異なる温泉成分を利用した製品等の開発を行う。地元の資源及び農産物を商工業者の知識や技術をもって加工し、高付加価値を付けて県内及び全国に発信・供給することにより、地域経済活性化の牽引車的な役割を果たすことを目的とする。
三股町商工会 (宮崎県)	【どぶろく特区を活かした三股町全国PR大作戦】 どぶろくを使った加工品の開発や未利用資源も含めた地場産品とマッチングさせた商品開発、また既存商品の改良等に取り組み、どぶろくの製造農家の増加や地場産業の振興を図る。またどぶろくを、文化として広くPRし、「人」と「人」、そして「人」と「文化」、「人」と「風土」を繋ぐキーワードとしてグリーンツーリズムに関連付け、本町に足を運んでもらう仕組みづくりを行う。
高城町商工会 (宮崎県)	【「肉のおつけもの」産品開発プロジェクト】 、地域に数多くある畜産資源を使い、枝肉のみならず可食部分全般を使った食肉加工品の開発、とりわけ肉をみそづけにした食品(肉のおつけもの)の開発を行うことで、畜産県としてのさらなる知名度アップ、付加価値を伴った農産品づくりに資するものとする。
須木村商工会 (宮崎県)	【特産品開発事業 別名lex事業(飛躍・拡大 The leap expansion)】 「栗の甘納豆」と「干飯(ほしい)」と二つのむらおこし事業で生まれた成果品を全国的に販路拡大することと、さらに、陶磁器や木工品をはじめとした新たな成果品の開発を目指していく。本地区の名前が全国的にも珍しい「すき」である。人を恋する心や、ふるさとを思う心に「好き」を訴える成果品の開発を目指していく。

事業実施者 (都道府県)	実施概要
五ヶ瀬町商工会 (宮崎県)	【五ヶ瀬町特産品開発等支援事業】 五ヶ瀬町ブランドを確立する取り組みとし、特産品として、五ヶ瀬ワイン、五ヶ瀬茶、鹿肉、やまめ、観光においては、五ヶ瀬ハイランドスキー場、五ヶ瀬ワイナリー等のPRと合わせて既成果品等の改良による高付加価値づけによる、「五ヶ瀬の光の創造と発信」を目指す。
鹿児島県商工会連合会 (鹿児島県)	【もったいない鹿児島「来て・見て！食べてみて！！」】 むらおこし事業で開発された各地の特産品を再検討し、全国市場で受け入れられる物にリニューアルし、全国で開催される求評会などに出品し、各地の流通業者へ売込む。地域、特産品を一体化し、地域ブランド化をはかっていくことにより、全国的にはまだ知られていない「鹿児島」の特産品、観光地を広く宣伝し、鹿児島の再発見につなげていく。
さつま町商工会 (鹿児島県)	【ノスタルジックカゴシマ「田舎満喫プロジェクト」】 商工会運営の「観光・物産ポータルサイト」と地域の商工会をツーリズム拠点として整備し、奥薩摩を周遊する観光プランを自分のペースにあわせて組み立てられるシステムを構築するとともに、商工会が情報提供拠点して地域の情報を提供する。親戚の帰省のように気取らず、温かく迎え、一緒に食事し、寝転がって語らい、ノスタルジックカゴシマが実現できる仕組みの構築を目指す。
加治木町商工会 (鹿児島県)	【加治木町特産品開発事業】 本事業で、全国展開ができる特産品開発(改良)にするため、食料品開発はテーマを「安心・安全・健康」とし、栄養分析評価やアレルギーに対する食品対策を行う。特に中高年者をターゲットとした市場調査を行い、レシピ開発や技術向上とネットワークの構築を図る。また、全国連が実施する展示会等に積極的に参加し、特産品開発(改良)と販路開拓・販路拡大をめざす。
中種子町商工会 南種子町商工会 上屋久町商工会 屋久町商工会 (鹿児島県)	【「太古と宇宙に出会える島でエコツーリズム」プロジェクト】 屋久島・種子島にエコツーリズムを実践するエコツアーを定着させるため、地域のデータベース化、エコツアー・パンフレットの作成、エコツーリズム実践のホームページの作成を行う。また、屋久島・種子島型でのワーキングホリデーとグリーン・ツーリズムを開発し、地元住民や地域の様々な産業を含む人々との交流と経済の活性化を行う。
徳之島町商工会 (鹿児島県)	【ジュース・バー「鹿児島の旬」プロジェクト】 温帯から亜熱帯に及ぶ温暖で広大な鹿児島県で採れる旬な果物・野菜のジュースやジェラートを提供する、ジュース・バー「鹿児島の旬」を全国展開する。南北600キロ、温帯から亜熱帯で生産される、鹿児島県ならではの果物や野菜は、多彩な品揃えと季節感を味わえ、加工や添加物を加えない自然で本物の味覚を提供し、国民の健康志向にも合致させる。
北谷町商工会 (沖縄県)	【愛犬フェスティバル『D1ピック』】 飼い主とペットが共に参加出来るイベントを開催し、動物同行型の観光スタイルを発信することで、北谷町を中心とした県内企業のペット対応サービスの後押しをする。将来的にはこのイベントが全国的規模になりペット参加型の「ペットのオリンピック」と呼ばれるようなイベントとなり全国から多くの参加者や来場者が北谷町に訪れるようなイベントを目指す。
金武町商工会 (沖縄県)	【金武町観光・特産品全国展開支援事業】 交流人口の増加と観光消費の拡大を目的として、イベントの開催、田芋・チリチャー・タコライス・海ぶどうなど既存の「素材」としての特産品の商品性の向上、新製品開発への取組み、体験学習調査研究、指導者育成、イベント時の特産品の提供や商談会への出展等を通じた情報発信等を行う。
玉城村商工会 (沖縄県)	【たまぐすく村発！新しい沖縄ブランド創生事業】 沖縄を代表する基幹作物の一つである「さとうきび」を素材とした「たまぐすく村のさとうきび酢」の需要創出と更なる市場拡大を目指し、成長著しい『飲む酢市場』に対応した沖縄産トロピカルフルーツ果汁と、たまぐすく村のさとうきび酢をブレンドした新商品、トロピカルビネガーのラインアップの企画開発を実行する。

事業実施者 (都道府県)	実施概要
座間味村商工会 (沖縄県)	<p>【ラムサール条約登録を機会とした新たな観光振興特産品開発】</p> <p>座間味村は、年間約10万人超の観光集客をしており、また本村海域が日本初のラムサール条約登録地に認定され、更にブランド価値が上がった。本事業実施により個々の事業者育成組織体の設立と、お土産品製造に関わる事業者の育成、生産販売等モノ作りに取り組み、観光総合産業の構築を図る。</p>